

所 属	商工労働部 商工政策課		
担当(係)名	新産業・新エネルギー担当	内線	3088

新 次世代エネルギーインフラの整備

1 事業費 176,800(0 → 176,800)

【財源内訳】

国庫 176,800

【主な使途】

工事請負費 88,200

委託料 15,000

負担金、補助及び交付金 60,000(補助金)

備品購入費 13,600(電気自動車、充電器)

2 背景・現状

現在、国は、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方について国民の理解の増進を図るため、太陽光発電等の設備を備え、実際に見て触れることができる次世代エネルギーパークの整備を促進している。

岐阜県としても、次世代の実現可能なエネルギー需給の姿を、具体的に提示し、社会の認知と理解を促し、次世代エネルギーの急速な普及拡大に向けた取り組みを推進していく必要がある。

3 事業目的

低炭素社会の実現に求められるクリーンで高効率なエネルギー需給モデルを、近い将来の電気自動車の急速な普及を見据えて構築し、県内の公共施設、小規模商業施設、一般家庭レベルへの普及促進を図る。

4 事業概要

地域の先導モデルとして、太陽光発電や燃料電池等を組み合わせた次世代エネルギーインフラを、県内の2か所に新エネルギーパークとして整備し、電気自動車とあわせて広く県内外へ公開・PRする。

◆新エネルギーパークの整備(160,000千円)

○県営都市公園(花フェスタ記念公園)の施設整備(100,000千円)

- ・東海環状自動車道の可児御嵩ICから5分、年間約50万人が訪れる花フェスタ記念公園に、太陽光発電や燃料電池等を設置

○小規模民間商業施設への設備導入助成(60,000千円)

- ・高速道路に隣接し、相当数の入場者を有する施設を選定し、自然エネルギー設備の導入を支援(補助率10/10以内、県内1か所を予定)

◆電気自動車の導入等(16,800千円)

○電気自動車の導入(10,000千円)

- ・県において2台をモデル導入し、PR効果の高い施設で活用するとともに、市町村等の要望に応じ、地域のイベント会場において展示等を実施

○急速充電設備の整備(6,800千円)

- ・電気自動車の導入に併せ、30分でフル充電できる装置を県庁に整備

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) (3) 工鉱業振興費
(明細書事業名) ○工業振興費
岐阜県次世代エネルギーパーク整備事業費